

## ② 私は樹木のお医者さん〜樹と命の伝道者として〜

### ◆木を知らない都会人

皆さんは都会人ですか。スギとヒノキの葉を見て自信を持って区別できるでしょうか。都会では、杉や檜の葉を見る機会がないのです。花粉症の原因とされスギという言葉を知らない人はいないような状況ですが、枝葉を意識して見る経験はしていません。山に行つて植えられている林をみても、全体を見ているだけです。葉の区別がつかないのです。

木だけでなく、身近な自然情報が生活と関わりなくなつたため、自然を利用する知恵は忘れられつつあります。ところが道を歩けば街路樹や生垣、庭木を目にします。ビルの周囲には植え込み、公園には樹木や草花など、親しむことができる自然はたくさんあるのです。

樹木を治療するだけが樹木医の仕事ではないことを皆さんと一緒に考えてみます。

### ◆木はどのように生きているのか

木は私たちと同様、生命活動をしています。ただ動かないのです。私たちは動物。動くことができます。動くためには全身が生きた細胞である必要があります。木は動かないため死

んだ細胞が大半です。直径一メートルの樹木の幹は九八%くらい死んだ細胞です。死んでいても細胞壁が固く木質化していますから、高い枝葉を支える役目をしています。生きた細胞の塊は葉なのです。光合成は生きた細胞が活発に行い木の生命活動を支えています。

### ◆木の民、森の民が育んだ日本の文化

木は水と空気と太陽の光のエネルギーがあれば生きていきます。どこにもあるものばかりですから動く必要がありません。砂漠は水が足りません。湿地は水が多すぎます。日本は適度に雨が降り、水に恵まれているため、自然に木が生えて森ができます。日本にいるとあたりまえですが、地球上では恵まれた自然環境です。木に恵まれているため、かつての日本家屋はほとんどが木造でした。酒樽、下駄、椀、和紙など生活は木に支えられ、豊かな日本の文化が育まれてきたのです。

### ◆私は樹木のお医者さん

この豊かな文化の礎が巨樹や古木、神木を崇める風土を醸成していると思います。天然記念物になった巨樹や古木を守ることから樹木医制度は始まりましたが、木に特化して関わる職

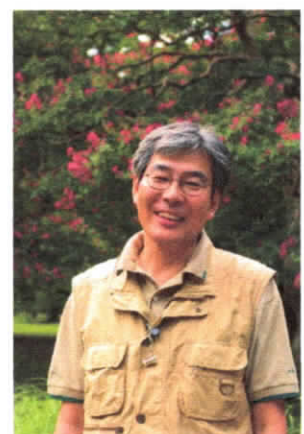
業として樹木医の役割は広がりました。木の治療に留まらず、木に関係した啓発活動も重要な活動になっています。まだ少数ですが、次代を担う子供たちに木の生き方や自然環境、自然から学ぶ知恵を伝える活動、一般市民にも都会暮らしで疎遠になつてきた木についての情報発信、身近な自然の啓発活動など、樹木医に求められている活動は広く多様です。



自然観察会の様子



講習会の様子



石井 誠治

いしい・せいじ

石井樹木医事務所 代表  
樹木医

都会への人口集中で、ますます自然から離れていく暮らしの中で、木を通して自然を理解してもらおう樹木医の仕事は、重要かつ貴重な職業となつていきます。